

完治証明書

※こども園は幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、

下記の感染症について意見書の提出をお願いします。

※感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での生活が可能な状態となつてからの登園であるようにご配慮ください。

< 医師用 >

完治証明書

高良こども園 園長殿

児童名 _____

生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

病名 _____

年 _____ 月 _____ 日から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になつたので
登園可能と判断します。

年 _____ 月 _____ 日

医療機関 _____

医師名 _____ 印（またはサイン） _____

○医師が記入した意見書が必要な感染症

感染症名	症状	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹(はしか)	発熱、咳、鼻水、発疹	発症1日前から発しん4日後まで	解熱後3日経過してから
風しん(三日はしか)	発熱、発疹、リンパ節の腫れ	発しん出現の前7日間くらい	発しんが消失してから
水痘(水ぼうそう)	発疹(紅斑)、水泡、膿疱	発しん出現1~2日前から痂皮形成まで	すべての発しんが痂皮化してから
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	頬の膨れ・痛み、 <small>えんげつう</small> 嚙下痛(飲み込むときの痛み)、発熱	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結核	咳、痰、呼吸困難		医師より感染の恐れがないと認めるまで
咽頭結膜熱(プール熱)	発熱、頭痛、食欲不振、だるさ、咽頭痛、結膜充血、目痛、涙目、目やに	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	瞼の腫れ・発赤、涙目、目やに	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	かぜ症状から咳の回数が多くなり激しくなる	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は5日間の適切な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症 (O-157、O-26、O-111等)	下痢、激しい腹痛、水様便、血便		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	頭痛、発熱、強い目の痛み、異物感、不快感、結膜の充血、瞼の腫れ、目やに	ウイルスが呼吸器から1~2週間、便から数週間~数ヶ月排出される	医師による感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	高熱、出血斑、頭痛、吐き気、発疹		医師により感染の恐れがないと認めるまで

登園届

※こども園は幼児が長時間生活を共にする場です。感染症の集団での感染や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、子ども達が1日快適に生活できることが大切です。

※園児がよくかかる下記の感染症については、登園のめやすを参考に、かかりつけの医師の診断に従い、登園届の提出をお願いします。

< 保護者記入用 >

登園届（保護者記入）

高良こども園 園長殿 児童氏名 _____

生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

_____ 年 _____ 月 _____ 日（病名）_____ と

医療機関名 _____ において診断され、
登園のめやすを参考に、症状が回復すれば、登園可能と診断されています。

_____ 年 _____ 月 _____ 日 症状が回復し、
集団生活に支障がない状態となりましたので登園いたします。

保護者氏名 _____ 印（またはサイン）

○医師の診断を受け、保護者が記入する登園届けが必要な感染症

病名	症状	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症 <small>ようれんきんかんせんしゅう</small>	発熱と喉の痛み (3歳未満は熱があがらないことも) 赤い疱疹、イチゴ舌など	適切な抗菌薬治療を開始する前 と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	発熱、咳(夜中に多く発症する)	適切な後抗菌薬治療を開始する 前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	発熱(微熱程度)食欲不振、 手のひら、足の裏などの疱疹、 口腔内に水泡	手足や口腔内に水泡・潰瘍が 発症した数日間	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の 影響がなく、普段の食事が とれること
伝染性紅斑 (りんご病)	リンゴのような頬の赤み、 手足にレース状の発疹	発疹出現前の一週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎 (ノロ、ロタ、アデノウイルス等)	吐き気、嘔吐、軟便～水様便 食欲不振、胃痛など	症状のある間と、症状消失後1週間 (量は減少していくが、数週間 ウイルスを排泄しているため注意 が必要)	嘔吐、下痢などの症状が治まり、 普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	発熱(高熱)、口蓋垂(のどちんこ) 周辺の小水泡、咳、鼻水などの 風邪症状	発症前の2日前から2～3週間 (1か月程ウイルスを排泄している ため注意が必要)	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の 影響がなく、普段の食事がとれ ること
RSウイルス感染症	発熱、咳、鼻水などの風邪症状 喘鳴(ゼイゼイ)、多呼吸など	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態 が良いこと
帯状疱疹	体の左右どちらか片方に帯のような 水泡(水泡ができると疼痛もともなう)	水泡が形成している間	全ての発疹が痂皮(かさぶた) 化してから
突発性疱疹	発熱、咳、鼻水などの風邪症状 (解熱とともに全身への発疹)	発症して、1週間程度	解熱し機嫌が良く、全身状態が 良いこと